

「今週の一枚」



フタスジモンカゲロウ （カゲロウ目, モンカゲロウ科）

フタスジモンカゲロウの幼虫は水のきれいな山地の溪流の砂地に住んでいます。水がきれいであることを教える、指標生物です。夏の夜に、流れの近くの岩によじ登って羽化します。写真は幼虫から羽化したばかりで、明るい光に集まってきたものを撮影しました。もう一度脱皮して、透明な翅（はね）になります。左右の翅を背中で垂直に立てるのがカゲロウ類の特徴です。幼虫は水の中で10ヶ月程度生き、成虫になると1日程度で死んでしまいます。だから、カゲロウのように短い一生．．．とたとえられるわけです。（吉村）

（No.8 2001.7.23 掲載）